

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
28	小中学生家庭学習支援事業		新型コロナウイルス感染症対策として実施した、町立小中学校の臨時休業により生じた、児童生徒の未履修分の補助学習ツールとして、小・中学生向けのオンライン学習サービスを導入する。長期休業中での学習ツールや、新たな感染蔓延等の事由により再度休業となった場合の学習ツールとしても活用できる。				
	事業開始	事業終期					
	R2.5	R2.8					
実施事業名・担当課			総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考
小中学生家庭学習支援事業		教育委員会事務局 総務学校係	4,205,520	4,205,520	単独	-	
合計			4,205,520	4,205,520			単位(円)
事業の実績	小学4年生から中学3年生を対象に、小中学生向けのオンライン学習サービス「スタディサプリ」を導入した。						
事業の効果	臨時休業により生じた、児童生徒の未履修分の補助学習ツールや長期休業中での学習ツールとして活用できた。						

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
29	GIGAスクール構想推進情報機器整備事業		地方創生臨時交付金の活用により、1人1台端末等のICT環境整備を推進し、GIGAスクール構想の更なる加速を図り、新たな時代に相応しい教育環境を実現させる。これは、新型コロナウイルスによる臨時休校措置等による学習の遅れに対応するため必要な事業である。				
	事業開始	事業終期					
	R2.9	R3.3					
実施事業名・担当部署			総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考
GIGAスクール構想推進情報機器整備事業		教育委員会事務局 総務学校係	14,736,196	14,736,196	単独	-	
合計			14,736,196	14,736,196			単位 (円)
事業の実績	児童生徒・教職員用タブレット端末1,098台の整備を行った。						
事業の効果	新たな時代に相応しい教育環境を実現させることができた。また、臨時休校となった際にも対応できるようになった。						

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
30	GIGAスクール構想推進町単独事業		地方創生臨時交付金の活用により、ICT環境整備を推進し、GIGAスクール構想の更なる加速を図り、新たな時代に相応しい教育環境を実現させる。これは、新型コロナウイルスによる臨時休校措置等による学習の遅れに対応するため必要な事業である。				
	事業開始	事業終期					
	R2.9	R3.3					
実施事業名・担当部署			総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考
GIGAスクール構想推進町単独事業		教育委員会事務局 総務学校係	29,877,661	29,877,661	単独	—	
合計			29,877,661	29,877,661			単位 (円)
事業の実績	タブレット端末の環境構築、GIGAスクール専用インターネット回線の新設、電子黒板の整備を行った。						
事業の効果	新たな時代に相応しい教育環境を実現させることができた。また、臨時休校となった際にも対応できるようになった。						

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的							
31	板倉町立小中学校情報通信ネットワーク整備事業		地方創生臨時交付金の活用により、小中学校のWiFi設備環境を整備し、GIGAスクール構想の更なる加速を図り、新たな時代に相応しい教育環境を実現させる。							
	事業開始	事業終期								
	R2.8	R3.3								
実施事業名・担当課			総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考			
板倉町立小中学校情報通信ネットワーク整備事業		教育委員会事務局 総務学校係	4,838,000	4,838,000	単独					
合計			4,838,000	4,838,000			単位 (円)			
事業の実績	小中学校への無線LANネットワーク環境構築と充電保管庫の整備を行った。									
事業の効果	新たな時代に相応しい教育環境を実現させることができた。									

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
32	教育施設水道蛇口交換事業		教育施設の水道蛇口を回転ハンドル式から、肘や手の甲で操作できるレバーハンドル式に変更することで、手洗い後に新型コロナウイルスが手に付くことを防ぎ、感染リスクの低減を図る。				
	事業開始	事業終期					
	R2.9	R3.3					
実施事業名・担当部署			総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考
教育施設水道蛇口交換事業		教育委員会事務局 総務学校係	2,090,000	2,090,000	単独	—	
合計			2,090,000	2,090,000			単位 (円)
事業の実績	学校、社会教育施設の蛇口643個をレバーハンドル式に交換。						
事業の効果	児童生徒及び施設利用者が利用する蛇口をレバーハンドル式に変更したことで、手指を使わずに開け閉めができるようになり感染拡大防止に効果を発揮した。						

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
33	小学校スクールバス感染症防止対策事業		スクールバス運行管理業務を委託している事業者に、感染症防止対策としてスクールバス車内の抗菌加工の施工を依頼し、安全で安心な運行につなげる。				
	事業開始	事業終期					
	R3.1	R3.1					
実施事業名・担当部署			総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考
小学校スクールバス感染症防止対策事業		教育委員会事務局 総務学校係	1,078,000	1,078,000	単独	-	
合計			1,078,000	1,078,000			単位 (円)
事業の実績	運行管理業務を委託しているスクールバス4台の車両内部の抗菌加工を行った。						
事業の効果	抗菌・抗ウイルスの効果がある空気触媒方式により車両内部を抗菌加工したため、感染拡大防止に効果を発揮した。						